

## 共同研究

# 子供が問いを持ち，追究し続ける授業（第3年次）

—主体的に学ぶ姿を求めて—

## 1 本校教育目標

### 教育目標

**体も心もたくましく，しかも，しなやかな子供**

心の温かい，思いやりのある子供  
互いに力を合わせ，自主的に行動する子供  
生命を大切に，体を鍛える子供  
なぜと考え，真実を追求する子供

「たくましさ」 健康で活力に満ちた心身  
自分を取り巻く環境に自ら立ち向かっていく姿勢

「しなやかさ」 柔軟な思考  
豊かなイメージやアイデアを描き出して，個性的・主体的・発展的に  
行動する姿勢

## 2 附属校園連携研究テーマ

### 附属四校園連携研究テーマ

『かかわり合う力』をはぐくむ

- ① 「もの」や「こと」に対して，興味・関心や課題意識をもちながら，物事の本質について追究していこうとする資質や能力  
(※「もの」や「こと」...教材や課題，社会現象や身近な環境など)
- ② 周囲の「ひと」と主体的にかかわり，自ら働きかけることで健全な人間関係を築いていこうとする資質・能力

## 3 「子供が問いを持ち，追究し続ける授業」について

「問いを持つ」・・・各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」を働かせ，問題意識や目的意識を明らかにし，課題を見いだしたり，思いを持ったりすること

「追究する」・・・各教科等の「見方・考え方」を働かせながら考えることや友達と学び合いながらよりよいものをつくり上げること

「続ける」・・・問いを持ち，追究することを連続していくこと

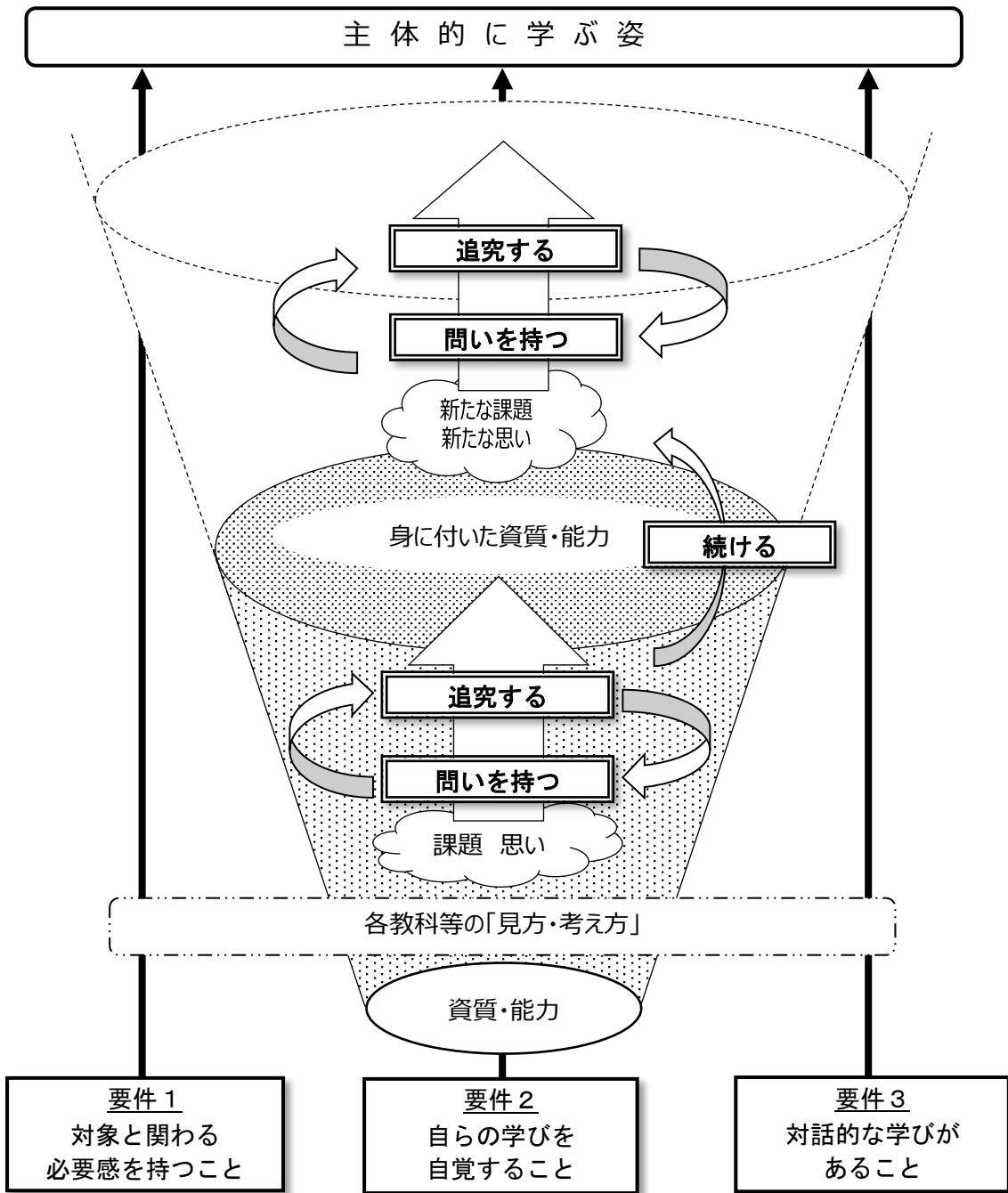
4 「子供が問いを持ち、追究し続ける授業」成立の要件について

- 要件1** 対象と関わる必要感を持つこと
- 要件2** 自らの学びを自覚すること
- 要件3** 対話的な学びがあること

5 「主体的に学ぶ姿」について

- 各教科等の「見方・考え方」を働かせ
- ◎ 自ら対象に向き合い、見通しを持って粘り強く取り組む姿
  - ◎ 自ら考えや思いを他と関わらせながらよりよいものを求める姿
  - ◎ 自ら学びを振り返り、次につなげる姿

【図 「問いを持ち、追究し続ける授業」イメージ】



## 6 各教科等の主題と視点

各教科等の主題		視 点
国語	言葉と向き合い、自らの表現に生かす授業の在り方	<視点1> 単元を支える一単位時間の言語活動の設定 <視点2> 自らの解釈や表現を振り返る発表や記述 <視点3> 自他の表現や解釈の関連付け
社会	問題解決の主体者となり、社会の一員としての自覚を高める授業の在り方	<視点1> 追究意欲を刺激する学習問題の設定のさせ方 <視点2> 見方・考え方の成長や概念の獲得を実感させる場面の設定 <視点3> 事象について捉え直させるための資料提示や発問
算数	自ら数量や図形に働き掛け、数学的な思考力を高める授業の在り方	<視点1> より進んだ数学的な見方・考え方に迫るための問いの構成 <視点2> 思考の過程を数学的に価値付ける場の設定 <視点3> より進んだ数学的な見方・考え方に迫る表現の関連付け
理科	子供が科学する楽しさを味わう授業の在り方	<視点1> 事象を科学的に見つめ、問題へと高めさせるための教材・資料の活用 <視点2> 学びを生かし、生活を科学的に見たり考えたりする学習活動の設定 <視点3> 科学的根拠に基づきながら、自他の考えの妥当性を図る学習活動の構築
生活	自分の思いや願いを生かし、気づきを深めていく授業の在り方	<視点1> 自ら対象へ働き掛けるための動機付け <視点2> 対象と自分との関わりを見つめ直す場の設定 <視点3> 対象への関わり方を広げる働き掛け
音楽	音楽の面白さや美しさを感じ取り、楽しく音楽活動に取り組む授業の在り方	<視点1> 要素や仕組みとその働きに気付かせる活動の工夫 <視点2> 教師の音楽的な価値付け <視点3> 自分の表現と他の表現を関わらせる活動の設定
図画工作	自分らしい表現を求め、作りだす喜びを味わう授業の在り方	<視点1> 表現の多様性に気付かせる活動の工夫 <視点2> 作品や表現を通して、自分と向き合わせる場の設定
家庭	生活事象から見付けた問題を解決し、自分の家庭生活に生かす授業の在り方	<視点1> 生活事象について問いを持たせる場面設定 <視点2> 自分の家庭生活に合わせた学びの活用のさせ方 <視点3> 生活事象の仕組みや家庭生活とのつながりを見いだすための自他の考えや実践の関連付け
体育	仲間と探求的に分かり、できるようになる授業の在り方	<視点1> 運動の技術的系統に即した問いの構成 <視点2> 自分の学びを確かめさせる振り返り <視点3> グループ学習による課題解決
道徳	自分の心に感じ、道徳的価値の自覚を深める授業の在り方	<視点1> 道徳的価値を自分の事として捉える場面の設定 <視点2> 自己を見つめ、道徳的価値を捉え直す働き掛け <視点3> 多面的・多角的に道徳的価値を考える活動の工夫
英語	やりとりを重視し、言語力を育む授業の在り方	<視点1> 意味のある場面・状況設定 <視点2> 自らの言語の学びを自覚させる働き掛け <視点3> 子供の思いや考えを伝え合わせるコミュニケーション